

サウンドフェスタ 2016 報告(2016.6.29)

6月29日から30日まで例年どおりグランキューブ大阪で開催されたサウンドフェスタ2016に行ってきました。関連サイトを以下に示します。

<http://www.sound-festa.com/>

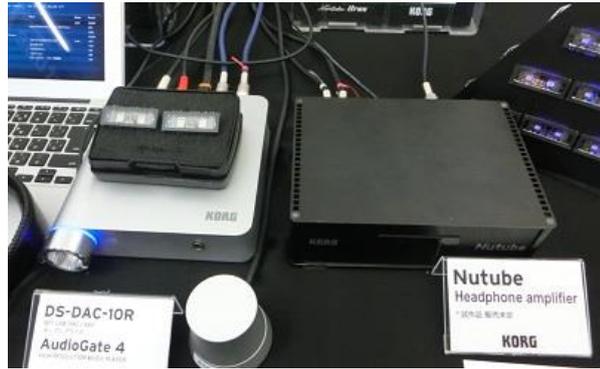
<http://www.sound-festa.com/event/list/0/1406/>

<http://www.sound-festa.com/event/list/0/1307/>



ほとんどはプロ用の機器の展示や説明会であって、アマチュアオーディオマニアの理解の範疇を超えるものでしたが、昨年同様 TEAC や KORG のブースに立ち寄り、いくつか興味を引くものがあったので下記に述べてみます。

KORG のコーナーでは、ちょうど上新電機の試聴会で聴いてきたばかりの DS-DAC-10R のデモが行われていました。上新電機の試聴会では、新しいタイプの真空管 Nutube を使ったアンプが使われていましたが、ここでは同じくこの真空管を使ったヘッドフォンアンプの試作品がデモ用に使われていました。アナログから取り込みながら、DS-DAC-10R で A/D 変換後イコライジングした後 5.6MHzDSD に変換した音をヘッドフォンで聴かせてもらいました。試作ヘッドフォンアンプは、真空管を通した音とそうでないオペアンプの音を切り替えて聴かせるものでしたが、真空管を通すと確かにその味わいが感じられ、上新電機の試聴会で聴いた印象より、今回のヘッドフォンで聴く DS-DAC-10R の音が良いように感じました。録音、再生ソフトの AudioGate4 も試してみる価値はありそうです。



TEACのコーナーでは、アナログプレイヤーTN-570とDACのUD-503のコンビのデモがあり、携帯プレイヤーも陳列されていました。TN-570は通常のアナログ出力、フォノイコを通したアナログ出力、PCで録音するためのUSB出力、192KHzの光デジタル出力があります。このようなデジタル出力があることが、セールポイントのようで、実際にTN-570でアナログ再生しながら内蔵フォノイコでイコライジングしたのちデジタル変換した192KHzの光デジタル出力をUD-503で受けてさらにDSD変換した音をヘッドフォンで聴かせてもらいましたが、相当にグレードの高い音質のように感じました。



TASCAMのコーナーでは、お馴染みのDA-3000とCG-2000のコンビとマルチチャンネルの録音機のデモがあり、今年の目玉はマルチチャンネルの録音機のようなでした。



ヘッドフォンコーナーでは、プロ用、コンシューマー用取り混ぜての展示がありました。写真はお馴染みのSTAXのデモの様子です。

